

## 標準服の有無に係る考え方の整理等について

### 1 前回の専門部会における方向性

気候や体調、ジェンダーなどの個々の事情に応じ対応ができる等の利点から、日常着用する服装は私服を基本とし、各家庭で選べるようにする。

ただし、「標準服（制服）」を希望した方のご意見にも配慮し、新しい学校が推奨するもの（制服ではなく標準例的なもの）を作成してお示しする方向で一旦検討していく。

### 2 考え方の整理

条件	標準服あり			標準服なし
	①常時求める	②式典等のみ求める	③求めない	④求めない
着用の必要性	○	○	×	×
私服の着用	×	△（※1）	○	○
購入の要否	○	○	×	×
公費負担の可否 ※統合時の在校生のみ	○	○	×	×

#### 〈標準服の有無のパターンに係る購入の必要性〉

- ①原則として、標準服の着用が毎日必要となることから、保護者は標準服の購入が必要。
- ②始業式や終業式等に標準服の着用を求めることから、保護者は標準服の購入が必要。  
平日は 私服で可。（※1）
- ③学校が、着用は求めないことから、保護者は標準服の購入は任意で判断。
- ④標準服がなく、着用の必要もないことから、保護者は標準服の購入が不要。

#### 〈公費負担にかかる考え方〉

- ① 又は②とするのであれば公費による貸与は可能。

なお、統合時の在校生については公費による貸与が可能だが、新1年生やその後入学する児童、在校生でもサイズアウトして購入する場合等については、保護者の負担となる。